

「GISを基盤とした空間情報共有プラットフォームによる文理融合研究推進の可能性(3)」

—神奈川拡大流域圏空間情報プラットフォームの活用と今後の展開—

文理融合を実現する手法としてこれまでの3年間GISを基盤とした空間情報技術の活用を模索してきましたが、ようやく、地下三次元モデルや大気・水循環シミュレータを合わせた空間情報プラットフォームという形にまとまりつつあります。流域の自然環境、人間活動の情報を時空間を軸に整理統合してGISサーバーに収め、相互解析を容易にするとともに、多人数の異なる分野、立場の人々の間で短時間で正確に、科学的な情報を共有させる機能をもつことをめざしています。

本年度は神奈川拡大流域圏(富士山麓水源から横浜・東京湾まで)を対象に粗い精度の、また金目川流域に関しては細かい精度のプラットフォームを試作しました。この試作についてご報告、活用の実演を行いながら、今後、人口減少・縮退型社会に向かう中で、生態系の保全・再生を視野にいれつつ、「かながわ水源環境保全・再生施策」、金目川流域自治体(秦野市、平塚市、神奈川県湘南地域県政総合センター)の政策支援、市民との協働への活用可能性を展望します。

また、このような空間情報プラットフォームの活用を国際的な視点で考えるために、本学グローバルCOE「アジア視点の国際生熊リスクマネジメント」でも取り組む予定である、国際連合大学高等研究所主導で日本を対象に行われる「里山・里海サブグローバル評価(SGA)」の紹介とそこでの活用可能性についての説明、本学訪問のため来日中の中国の研究者を交えた意見交換も行う予定です。

(本空間情報プラットフォーム・システムは本学グローバルCOEの知的情報基盤として構築されたものです。また、一部の方には国連高等研究所のアルフォンス・カンブー氏の特別講演を予定しているとお知らせしておりましたが、都合で急遽中止となりました。)

>> プログラム

司会：横浜国立大学 環境情報研究院 吉田 聡

13:00~14:45

第1部 報告 ~これまでの経過と現段階の空間情報プラットフォーム並びにその活用と展開~

13:00~13:05

1. 開会あいさつ

横浜国立大学 副学長 渡辺 慎介

13:05~13:25

2. 経過報告 3年間の経過と空間情報プラットフォームとその活用・展開について

横浜国立大学 環境情報研究院 佐土原 聡

13:25~14:45

3. 成果報告 ① 流域圏地下立体モデル

防災技術株式会社 堀 伸一郎

② 流域圏表流・地下水一体型水循環シミュレーション結果

株式会社地圏環境テクノロジー 森 庸二

③ 流域圏大気循環シミュレーション結果

産業技術総合研究所 近藤 裕昭

④ GISサーバー・データベースとWebGISについて

株式会社パスコ 澄川 祐一

休 憩

14:55~16:45

第2部 ワークショップ ~流域圏空間情報プラットフォームを活用してのワークショップ~

コーディネータ：横浜国立大学 環境情報研究院 佐土原 聡

14:55~15:15

1. プレゼンテーション

横浜国立大学 環境情報研究院 佐藤 裕一

15:15~15:50

2. パネル・ディスカッション

拡大流域圏研究会・グローバルCOE

15:50~16:40

3. 中国の研究者との意見交換、会場の方々とのフリー・ディスカッション

16:40~16:45

4. まとめと新たな展開に向けて

横浜国立大学 環境情報研究院 佐土原 聡